

環境資源部

(1) 環境資源部予算のポイント

◆予算編成にあたっての背景・課題

- 「第二次町田市環境マスタープラン」に掲げる「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市まちだ」の実現に向け、市民・事業者との協働により、環境負荷の低減を図り、環境に配慮したまちの実現が求められています。
- ごみの減量と資源化を図り、「町田市一般廃棄物資源化基本計画」の全体目標として掲げた、“ごみとして処理する量の40%削減”の実現に向けて、「ごみ減量アクションプラン」に掲げた施策を着実に推進する必要があります。
- 現在の町田リサイクル文化センターは、稼動から37年が経過し、老朽化が進んでいます。「まちだ未来づくりプラン」の基本政策「環境に配慮したまちをつくる」の実現に向け、持続可能な資源循環型社会の形成に寄与する、新たなごみの資源化施設整備を着実に進める必要があります。また、新たな施設が稼動するまで、現在の施設で安全で安定したごみ処理を行うため、現焼却施設の計画的な延命化を図る必要があります。

◆予算編成の考え方

- 「第二次町田市環境マスタープラン 後期アクションプラン」に掲げた、「地球温暖化対策」や「生物多様性の保全」、「良好な生活環境の確保」に取り組みます。
- 2015年度に策定した、「町田市一般廃棄物資源化基本計画 ごみ減量アクションプラン」に基づき、家庭や事業所から出るごみの減量・発生抑制を促進するための取り組みを推進します。
- 「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設)と、資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック、ビン、カン等)の整備事業を推進します。
- 新たなごみの資源化施設の完成まで、老朽化した施設を安全で安定的に稼動させるため、「清掃工場修繕工事計画」に基づき、施設の延命化を図ります。

◆予算編成で重視した取組

- 1 生物多様性の保全に向けた取組(共生推進事業費 環境・自然共生課 418ページ)
 - (1)市民協働による生きもの調査を実施し、市内の生物に関する情報を収集・発信します。
 - (2)生物多様性保全、生活環境への被害防止のため、外来生物であるアライグマ、ハクビシンを駆除します。
- 2 良好な生活環境の確保に向けた取組(公害対策費 環境保全課 420ページ)
 - (1)土壌や地下水汚染を未然に防止するため、環境確保条例等に基づき、対象となる事業所への立ち入り調査や指導を行い、事業者の適正な有害物質の管理・使用を促します。
 - (2)「町田市あきかん・吸い殻等の散乱防止等に関する条例」に基づいて、市内のあきかん・吸い殻等の散乱防止のために啓発等を行います。

- 3 ごみの減量と資源化の推進(3R推進事業費 3R推進課 431ページ)
- (1) 地域資源回収事業により、市民の自主的な活動による資源物の回収を支援します。
 - (2) 生ごみ減量・資源化を推進します。
 - (3) リサイクル広場の周知を図り、陶磁器やガラス食器、家庭用金属金物等の資源化を行うことで、市民のごみ減量に関する意識の向上を図ります。
 - (4) イベントごみ減量支援事業により、リユース食器、分別ステーション等の利用を促進し、イベント主催者・参加者のごみ減量に関する意識の向上を図ります。
 - (5) 上記のほか、ごみ分別アプリ等の様々な情報発信手段を用いた啓発活動を行います。
- 4 新たなごみの資源化施設の整備(資源化施設整備費 循環型施設整備課 425ページ)
- (1) 熱回収施設等については、2018年度に引き続き、施設本体の建設工事を実施します。
 - (2) 資源ごみ処理施設については、整備に向けた測量や法令手続の準備等を進めていきます。
 - (3) 市民と協働で安全かつ安心な施設を整備するため、施設周辺住民の代表で構成される「ごみの資源化施設地区連絡会」を開催します。
- 5 新たなごみの資源化施設周辺環境の整備
- (1) 熱回収施設周辺の環境整備を促進するため、最終処分場閉鎖に向けた池の辺地区の整備工事の実施及び峠谷地区の基本計画の策定を行います。(最終処分場管理費 資源循環課 430ページ)
 - (2) 熱回収施設及び資源ごみ処理施設周辺の環境整備を促進するため、「(仮称)蓮田公園基本計画」及び「(仮称)大戸広場基本構想」の策定を行います。(資源化施設整備費 循環型施設整備課 425ページ)
- 6 現清掃工場の延命化(廃棄物処理施設運営費 資源循環課 426ページ)
- 老朽化した現清掃工場を、安全で安定的に稼働させるため、計画的な修繕、工事を行います。

(2) 2019年度 環境資源部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	2019年度	2018年度	比較	事業名
4 衛生費					
1 保健衛生費					
	5 環境政策費	18,311	15,823	2,488	総合環境計画策定事業費
	6 環境・自然共生費	7,284	31,086	△ 23,802	共生推進事業費
	7 環境衛生費	62,130	49,690	12,440	環境衛生総務費 公害対策費 環境衛生対策費 行旅死亡人等取扱費 公共トイレ計画推進費 南多摩都市霊園負担金
3 清掃費					
	1 資源化政策費	1,387,767	1,429,148	△ 41,381	資源化推進費 広域廃棄物処理費
	2 循環型施設整備費	4,126,838	2,300,640	1,826,198	資源化施設整備費
	3 廃棄物処理費	2,040,215	2,566,660	△ 526,445	廃棄物処理施設運営費 リレーセンターみなみ運営費 し尿処理場管理費 再資源化推進費 最終処分場管理費
	4 3R推進費	2,114,271	2,066,636	47,635	3R推進事業費 廃棄物収集費 適正処理推進費 指定収集袋事業費
11 災害復旧費					
2 厚生労働施設災害復旧費					
	1 衛生施設災害復旧費	2	2	0	衛生施設災害復旧事業費
合計		9,756,818	8,459,685	1,297,133	

※職員人件費、嘱託・臨時職員人件費は除いています。

環境資源部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	9,756,818	1,160,220	720,547	2,241,600	2,638,296	2,996,155
2018年度	8,459,685	355,292	665,101	1,128,700	2,790,722	3,519,870
比較	1,297,133	804,928	55,446	1,112,900	△ 152,426	△ 523,715

(3) 事業別支出科目一覽

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
4	1	5	環境政策費		18,311
			02 総合環境計画策定事業費	環境政策課	18,311
			環境審議会委員報酬		476
			委員謝礼		647
			消耗品費		201
			印刷製本費		2,631
			備品修繕料		59
			作業手数料		70
			事業・業務委託料		6,857
			作成委託料		2,321
			配布委託料		1,939
			研修負担金		18
			町田エコフェスタ事業負担金		3,092
4	1	6	環境・自然共生費		7,284
			02 共生推進事業費	環境・自然共生課	7,284
			講師謝礼		1,160
			普通旅費		110
			消耗品費		977
			燃料費		110
			印刷製本費		1,027
			光熱水費		654
			備品修繕料		300
			車両修繕料		169
			広告料		163
			自動車保険料		80
			傷害保険料		43
			機器等保守点検委託料		415
			調査等委託料		792
			駆除・消毒委託料		1,282
			入場料		2
4	1	7	環境衛生費		62,130
			02 環境衛生総務費	環境保全課	199
			普通旅費		155
			特別旅費		11
			消耗品費		33
			03 公害対策費	環境保全課	21,901
			消耗品費		367
			備品修繕料		250
			電話料		590
			検査手数料		227
			登録手数料		3
			機器等保守点検委託料		1,919
			調査等委託料		11,055
			収集・処分等委託料		50
			測定委託料		6,773
			備品借上料		94
			備品等購入費		540
			研修負担金		30

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			都市環境・公害事務連絡協議会負担金		3
			04 環境衛生対策費	環境保全課	37,892
			消耗品費		490
			備品修繕料		215
			電話料		9
			傷害保険料		10
			事業・業務委託料		24,080
			収集・処分等委託料		68
			剪定・除草委託料		13,019
			還付金・返還金		1
			05 行旅死亡人等取扱費	環境保全課	818
			事業協力謝礼		150
			消耗品費		20
			官報公告掲載料		42
			事業・業務委託料		441
			施設使用料		165
			06 公共トイレ計画推進費	環境保全課	12
			消耗品費		12
			07 南多摩都市霊園負担金	環境保全課	1,308
			南多摩都市霊園負担金		1,308
4	3	1	資源化政策費		1,387,767
			02 資源化推進費	環境政策課	464,742
			廃棄物減量等推進審議会委員報酬		930
			委員謝礼		220
			普通旅費		152
			特別旅費		150
			消耗品費		64
			食糧費		164
			光熱水費		3,120
			施設修繕料		100
			傷害保険料		9
			計画策定委託料		3,643
			機器等保守点検委託料		345
			建物借上料		6,024
			自動車借上料		243
			システム使用料		66
			入場料		60
			三多摩清掃施設連絡協議会負担金		5
			全国都市清掃会議負担金		243
			廃棄物減量再資源化等推進整備基金積立金		449,204
			03 広域廃棄物処理費	環境政策課	923,025
			多摩ニュータウン環境組合負担金		71,514
			東京たま広域資源循環組合負担金		851,511
4	3	2	循環型施設整備費		4,126,838
			02 資源化施設整備費	循環型施設整備課	4,126,838
			委員謝礼		116
			講師謝礼		310
			事業協力謝礼		748
			普通旅費		637
			消耗品費		173

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			印刷製本費		1,182
			傷害保険料		5
			事業・業務委託料		33,769
			計画策定委託料		9,642
			測量委託料		35,851
			工事監理委託料		33,820
			不動産鑑定・評価委託料		18,485
			調査等委託料		13,330
			作成委託料		5,397
			配布委託料		2,489
			建物借上料		34,662
			入場料		3
			整備工事費		3,477,672
			用地購入費		180,000
			研修負担金		20
			特別高圧受電線引込負担金		70,000
			物件等補償料		208,527
4	3	3	廃棄物処理費		2,040,215
			02 廃棄物処理施設運営費	資源循環課	1,366,913
			普通旅費		370
			費用弁償		20
			消耗品費		190,277
			燃料費		7,735
			印刷製本費		137
			光熱水費		65,034
			施設修繕料		179,547
			備品修繕料		360
			車両修繕料		500
			医薬材料費		30
			電話料		1,260
			検査手数料		944
			申請手数料		60
			自動車保険料		77
			事業・業務委託料		312,241
			事務処理等委託料		92
			施設等管理委託料		80,958
			機器等保守点検委託料		452,765
			警備委託料		3,930
			調査等委託料		11,453
			収集・処分等委託料		52,947
			検査委託料		312
			清掃委託料		452
			駆除・消毒委託料		304
			複写機使用料		431
			システム使用料		1,060
			自動体外式除細動器借上料		116
			有料道路通行料		50
			原材料費		2,041
			研修負担金		515
			ボイラー・タービン主任技術者会負担金		42

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			電波利用料負担金		21
			電気主任技術者協会負担金		35
			廃棄物処理施設技術管理協会負担金		10
			汚染負荷量賦課金		787
			03 リレーセンターみなみ運営費	資源循環課	119,734
			消耗品費		3,135
			施設修繕料		3,659
			電話料		83
			施設等管理委託料		97,577
			機器等保守点検委託料		15,255
			測定委託料		25
			04 し尿処理場管理費	資源循環課	125,584
			消耗品費		5,976
			燃料費		83
			光熱水費		5,229
			施設修繕料		3,300
			電話料		245
			施設等管理委託料		33,747
			機器等保守点検委託料		4,995
			警備委託料		458
			調査等委託料		1,889
			収集・処分等委託料		2,542
			測定委託料		709
			下水道使用料		16,400
			解体工事費		50,011
			05 再資源化推進費	資源循環課	303,655
			消耗品費		570
			施設修繕料		9,673
			電話料		83
			処分手数料		23
			施設等管理委託料		49,494
			機器等保守点検委託料		33,702
			調査等委託料		4,351
			収集・処分等委託料		173,178
			清掃委託料		1,895
			測定委託料		26
			用地借上料		29,377
			環境保全協力金		60
			資源物処理負担金		1,223
			06 最終処分場管理費	資源循環課	124,329
			光熱水費		60
			計画策定委託料		5,500
			測量委託料		44,392
			工事監理委託料		4,979
			調査等委託料		11,518
			清掃委託料		3,630
			整備工事費		54,250
4	3	4	3R推進費		2,114,271
			03 3R推進事業費	3R推進課	236,699
			講師謝礼		210

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			事業協力謝礼		1,440
			奨励金・報償金		103,409
			消耗品費		3,268
			印刷製本費		3,677
			光熱水費		12,552
			施設修繕料		500
			備品修繕料		500
			電話料		5
			広告料		330
			傷害保険料		286
			賠償責任等保険料		189
			事業・業務委託料		23,574
			施設等管理委託料		25,908
			機器等保守点検委託料		7,611
			製作委託料		1,534
			収集・処分等委託料		25,130
			配布委託料		1,010
			備品借上料		11,412
			会場借上料		7
			設置工事費		4,554
			備品等購入費		6,593
			生ごみ処理機購入費補助金		3,000
			04 廃棄物収集費	3R推進課	1,516,452
			普通旅費		79
			費用弁償		5
			消耗品費		4,739
			燃料費		15,359
			印刷製本費		12,399
			施設修繕料		50
			車両修繕料		11,422
			医薬材料費		106
			電話料		225
			リサイクル手数料		22
			利用手数料		2
			処分手数料		3
			証明手数料		1
			廃棄物処分手数料		772
			自動車保険料		2,591
			事業・業務委託料		6,582
			システム保守点検委託料		2,440
			機器等保守点検委託料		49
			製作委託料		393
			収集・処分等委託料		1,447,164
			配布委託料		5,623
			自動車借上料		20
			システム使用料		1,940
			駐車場使用料		10
			原材料費		27
			備品等購入費		34
			車両購入費		3,240

環境資源部

款	項	目	事業名	所属名	金額(千円)
			損害賠償金		1
			自動車重量税		1,154
			05 適正処理推進費	3R推進課	875
			消耗品費		875
			06 指定収集袋事業費	3R推進課	360,245
			事業・業務委託料		360,245
11	2	1	衛生施設災害復旧費		2
			01 衛生施設災害復旧事業費	環境政策課	2
			災害復旧委託料		1
			災害復旧工事費		1

(4) 事業の説明

一般会計

		款 4 項 1 目 5 環境政策費				
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	18,311	0	0	0	160	18,151
2018年度	15,823	5,292	0	0	0	10,531

2 総合環境計画策定事業費

18,311 千円

担当 環境政策課

予算書

114 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	0	0	160	18,151

○事業の内容

水とみどりとにぎわいの調和した環境都市まちだを実現するため、「第二次町田市環境マスタープラン」及びその推進計画である「後期アクションプラン」に基づき、環境施策を推進し計画の進行管理を行います。また、市の温室効果ガス排出量や廃棄物排出量等の削減を目的として、市独自に構築した「町田市環境マネジメントシステム」を運用します。

○2019年度の取り組み

- ・「町田市環境マネジメントシステム」を運用し、市が所有する全施設を対象として、温室効果ガス排出量や廃棄物排出量等の削減を推進します。また、環境法令管理の仕組みを構築します。
- ・省エネルギー法、温暖化対策法、東京都環境確保条例に基づくエネルギー使用量等の集計、公表を行い、定期報告書等を作成します。
- ・環境に関する様々な取り組み・情報を市民の皆様に発信するため、環境広報紙「ECOまちだ」を年4回発行します。
- ・環境啓発を目的とした町田エコフェスタを開催するため、実行委員会への支援を行います。

主な事業費	事業・業務委託料	6,857千円
	（環境マネジメントシステム運用支援	3,218千円）
	（省エネルギー法等対応事務支援	1,771千円）
	（町田エコフェスタ実行委員会事務局支援	1,868千円）
	作成委託料（環境白書）	2,321千円
	町田エコフェスタ事業負担金	3,092千円
	印刷製本費	2,631千円
	（環境広報紙	1,371千円）



町田市エコキャラクター

ハスのん



後期アクションプラン
(第二次町田市環境マスタープラン推進計画)

イベントを盛り上げるハスのん
(環境月間イベント)

一般会計		款 4	項 1	目 6	環境・自然共生費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	7,284	0	800	0	1,072	5,412
2018年度	31,086	0	734	0	1,082	29,270

2 共生推進事業費 7,284 千円

担当 環境・自然共生課 予算書 114 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	800	0	1,072	5,412

○事業の内容

「第二次町田市環境マスタープラン」、「町田市5ヵ年計画17-21」、「町田生きもの共生プラン」に基づき、市民や事業者の地球温暖化防止や生物多様性保全の意識を育む取り組みを進めていきます。

○2019年度の取り組み

- ・地球温暖化防止のため、暮らしや事業活動の中で実践できる取り組みの普及を図ります。
- ・生物多様性保全のため、生きもの調査や普及啓発イベントの実施、外来生物であるアライグマ、ハクビシンの駆除等を行います。

主な事業費

駆除・消毒委託料(アライグマ、ハクビシンの駆除)	1,282千円
講師謝礼(環境学習・普及啓発イベント)	1,160千円

主な特定財源

特定外来生物等防除事業費補助金(都1/2)	800千円
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成金	1,000千円



水素エネルギー啓発イベント



捕獲したアライグマ

一般会計		款 4	項 1	目 7	環境衛生費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	62,130	0	8,672	0	13,130	40,328
2018年度	49,690	0	7,919	0	12,796	28,975

2 環境衛生総務費 199 千円

担当 環境保全課 予算書 115 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	137	0	10	52

○事業の内容

環境保全課の総務に係る事業です。

○2019年度の取り組み

環境保全課の業務運営に必要な消耗品を購入します。また、各事業の出張旅費を負担します。

主な事業費 普通旅費 155千円

特定財源 公害対策事業委託金(都10/10) 137千円
 除草受託収入 10千円

3 公害対策費

21,901 千円

担当 環境保全課

予算書 115 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	7,788	0	41	14,072

○事業の内容

- ・事業者等への規制や指導を通して、公害発生 of 未然防止と被害の低減を図ります。
- ・大気汚染や河川の水質、道路騒音や航空機騒音等の環境に関する調査を行い、実態を把握します。

○2019年度の取り組み

- ・水質汚濁防止法に基づく調査を中心に、河川(毎月4地点、四半期毎28地点)及び地下水(年12ヶ所)を測定します。自動車道路騒音は市内7地点において測定します。
- ・大気質調査は年1回市内6地点、ダイオキシン類は年2回市内3地点、工場等の排水検査は年間延べ32ヶ所を測定します。
- ・航空機騒音を通年市内5地点において測定します。

主な事業費	調査等委託料	11,055千円
	（河川調査	8,298千円）
	（地下水調査	1,125千円）
	（自動車騒音常時監視・面的評価業務	1,632千円）
	測定委託料	6,773千円
	（ダイオキシン類分析	1,327千円）
	（主要幹線道路環境(大気質)調査	3,366千円）
	（工場等排水調査	1,080千円）
	（緊急時測定調査	1,000千円）
	機械等保守点検委託料(設備保守点検委託料)	1,919千円
主な特定財源	公害対策事業委託金(都10/10)	7,788千円



河川調査(境川)



航空機騒音測定器(左)とマイクロホン(右)

4 環境衛生対策費

37,892 千円

担当 環境保全課

予算書

115 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
0	0	0	13,079	24,813

○事業の内容

- ・環境保持のため、あき地の所有者に対して適正管理の依頼をします。所有者自身で除草ができない場合は、料金を納付していただき、委託業者による除草を行います。
- ・環境美化や喫煙マナーの向上を推進します。
- ・美化推進重点区域と道路等喫煙禁止区域において、清掃業務や路上喫煙に対する巡回指導等を行います。

○2019年度の取り組み

- ・5月と10月にあき地の現地調査を行い、適正管理をお願いする文書を送付します。
- ・市内の駅周辺で美化推進のための啓発活動を14回実施します。
- ・美化推進重点区域と道路等喫煙禁止区域内で、委託業者によるポイ捨てごみの清掃と路上喫煙に対する巡回指導を実施します。


主な事業費	事業・業務委託料	24,080千円
	（巡回指導業務	13,431千円）
	（美化推進重点区域清掃業務	10,377千円）
	（路面標示設置業務	272千円）
	剪定・除草委託料（あき地除草業務）	13,019千円
特定財源	除草受託収入	13,077千円
	路上喫煙禁止違反過料	2千円



路上喫煙禁止マーク



美化推進啓発活動

5 行旅死亡人等取扱費					818 千円
担当	環境保全課				予算書 115 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	747	0	0	71
<p>○事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行旅中に死亡し、身元不明または引取者のいない死体の火葬等を行います。 ・無縁墓地の維持管理を行います。 <p>○2019年度の取り組み</p> <p>無縁墓地の維持管理を行います。</p>					
主な事業費	事業・業務委託料(行旅死亡人等取扱)			441千円	
	施設使用料(火葬場等使用料)			165千円	
特定財源	行旅死亡人等取扱費(都10/10)			747千円	
6 公共トイレ計画推進費					12 千円
担当	環境保全課				予算書 115 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	12
<p>○事業の内容</p> <p>公共トイレ協力店等を活用して、誰でも安心してトイレを利用できる環境づくりを進めます。</p> <p>○2019年度の取り組み</p> <p>公共トイレ協力店の情報を更新し、ホームページに掲載します。また、公共トイレ協力店に貼っている、古くなったシールを新しいものに交換します。</p>					
事業費	消耗品費			12千円	
 <p>公共トイレ協力店マーク</p>					
7 南多摩都市霊園負担金					1,308 千円
担当	環境保全課				予算書 115 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	0	1,308
<p>○事業の内容</p> <p>南多摩都市霊園における町田市の割当面積に応じて、管理費を負担します。</p> <p>○2019年度の取り組み</p> <p>2019年9月と2020年3月に負担金を支払います。</p>					
事業費	南多摩都市霊園負担金			1,308千円	

一般会計		款 4	項 3	目 1	資源化政策費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	1,387,767	0	286,000	0	452,840	648,927
2018年度	1,429,148	0	241,448	0	483,015	704,685

2 資源化推進費 464,742 千円

担当 環境政策課 予算書 116 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	452,840	11,902

○事業の内容

持続可能で環境負荷の少ない都市の実現に向け、「町田市一般廃棄物資源化基本計画」及びその行動計画である「ごみ減量アクションプラン」に基づき、ごみの減量・資源化に向けた施策を推進します。また、廃棄物の減量・再資源化の推進を目的として設立した「廃棄物減量再資源化等推進整備基金」の管理を行います。

○2019年度の取り組み

- ・2021年度を初年度とする、「(仮称)第二次町田市一般廃棄物資源化基本計画」を2019年度と2020年度の2カ年で策定します。
- ・日の出町にある最終処分場の見学会である「三多摩は一つなり交流事業」を年2回実施します。
- ・「廃棄物減量再資源化等推進整備基金」にごみの指定収集袋収入(必要経費を除く)を積み立てます。

主な事業費	廃棄物減量再資源化等推進整備基金積立金	449,204千円
	計画策定委託料(一般廃棄物資源化基本計画)	3,643千円
	建物借上料(清掃工場仮設倉庫)	6,024千円

債務負担行為	計画策定委託料(一般廃棄物資源化基本計画)	
	(2019～2020年度債務負担行為事業 総事業費12,418千円)	
	建物借上料(清掃工場仮設倉庫)	
	(2016～2021年度債務負担行為事業 総事業費28,847千円)	

主な特定財源	家庭ごみ処理手数料	440,990千円
	少量排出事業者ごみ処理手数料	8,060千円
	三多摩は一つなり交流事業補助金	471千円



一般廃棄物資源化基本計画
ごみ減量アクションプラン

3 広域廃棄物処理費

923,025 千円

担当 環境政策課

予算書 117 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	286,000	0	0	637,025

○事業の内容

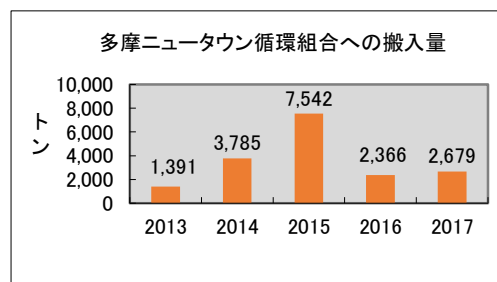
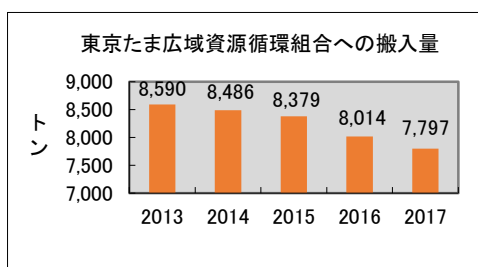
町田市が構成市となっている東京たま広域資源循環組合及び多摩ニュータウン環境組合に経費を負担します。東京たま広域資源循環組合は、多摩地域25市1町の自治体の一般廃棄物の最終処分を広域的に行うために設置された一部事務組合です。また多摩ニュータウン環境組合は、町田市、八王子市、多摩市で構成される一部事務組合です。

○2019年度の取り組み

- ・町田市から発生した焼却灰等を東京たま広域資源循環組合においてエコセメント化するための経費を負担します。
- ・小山ヶ丘地区の燃やせるごみ・燃やせないごみを多摩ニュータウン環境組合において処分するための経費を負担します。

事業費 東京たま広域資源循環組合負担金 851,511千円
 多摩ニュータウン環境組合負担金 71,514千円

特定財源 市町村総合交付金(都) 286,000千円



一般会計		款 4	項 3	目 2	循環型施設整備費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	4,126,838	1,150,070	324,000	2,241,600	76,710	334,458
2018年度	2,300,640	227,866	258,000	840,000	226,764	748,010
2 資源化施設整備費						4,126,838 千円
担当 循環型施設整備課						予算書 117 ページ
財源内訳		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
		1,150,070	324,000	2,241,600	76,710	334,458
○事業の内容						
町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、老朽化したごみ処理施設に代わる新たな熱回収施設等(焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設等)を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック、ビン、カン等)を相原地区及び上小山田地区に整備します。						
また、周辺地域の魅力向上や地域交流を促進するため、周辺環境の整備を行います。						
○2019年度の取り組み						
・2018年度に引き続き、熱回収施設等の整備工事を進め、2019年度は地下躯体工事完了を予定しています。資源ごみ処理施設においては、整備に向けた測量や法令手続きの準備等を行います。						
・施設周辺の環境整備を促進するため、公園等の基本計画、基本構想を策定します。						
主な事業費						
整備工事費(熱回収施設等整備工事費)						3,477,672千円
物件等補償料(相原地区・大戸広場)						208,527千円
用地購入費(相原地区)						180,000千円
工事監理委託料(熱回収施設等設計施工監理業務委託)						33,820千円
特別高圧受電線引込負担金(熱回収施設等特別高圧受電線引込負担金)						70,000千円
測量委託料						35,851千円
(相原地区土地測量業務委託料	18,500千円)					
(上小山田地区土地測量業務委託料	10,015千円)					
計画策定委託料						9,642千円
((仮称)蓮田公園基本計画策定業務委託	4,642千円)					
((仮称)大戸広場基本構想策定業務委託	5,000千円)					
債務負担行為						
整備工事費(熱回収施設等整備工事費)						
(2016～2040年度債務負担行為事業	総事業費46,443,618千円)					
工事監理委託料(熱回収施設等設計施工監理業務委託)						
(2016～2024年度債務負担行為事業	総事業費287,280千円)					
特別高圧受電線引込負担金(熱回収施設等特別高圧受電線引込負担金)						
(2017～2021年度債務負担行為事業	総事業費464,950千円)					
建物借上料(仮設管理棟リース料)						
(2016～2021年度債務負担行為事業	総事業費174,582千円)					
特定財源	循環型社会形成推進交付金(国 1/2・1/3)					1,150,070千円
	市町村総合交付金(都)					324,000千円
	廃棄物処理施設整備事業債					2,241,600千円
	廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金					76,710千円

一般会計		款 4	項 3	目 3	廃棄物処理費		
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
2019年度	2,040,215	10,150	101,075	0	1,376,907	552,083	
2018年度	2,566,660	122,134	157,000	288,700	1,391,666	607,160	
2 廃棄物処理施設運営費						1,366,913 千円	
担当 資源循環課						予算書	118 ページ
財源内訳		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
		0	96,000	0	1,043,415	227,498	
<p>○事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場の維持管理上必要な点検やごみの受け入れ、焼却等に関する委託を行います。 ・発電や焼却設備等の修繕・工事を実施します。 <p>○2019年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃工場修繕工事計画に基づき、ごみ処理設備等を整備します。 							
主な事業費	事業・業務委託料					312,241千円	
	(清掃工場運転等業務)					152,759千円)	
	(排水浄化センター運転等業務)					132,975千円)	
	(家庭系持込ごみ等受取り選別業務)					26,507千円)	
主な特定財源	持込ごみ処理手数料					786,074千円	
	資源物売払代(古紙、古着等)					201,036千円	
	市町村総合交付金(都)					96,000千円	

3 リレーセンターみなみ運営費

119,734 千円

担当 資源循環課

予算書 118 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	45,492	74,242

○事業の内容

- ・JR横浜線以南地域で収集された燃やせるごみの中継基地「リレーセンターみなみ」の運営をします。
- ・JR横浜線以南の地域で収集された容器包装プラスチックを選別・圧縮し、清掃工場へ搬送します。

○2019年度取り組み

- ・リレーセンターみなみの施設運営を委託することにより、燃やせるごみ・容器包装プラスチックの効率的な詰め替え、搬送を行います。

主な事業費 施設等管理委託料(リレーセンターみなみ施設運営) 97,577千円

債務負担行為 施設等管理委託(リレーセンターみなみ施設運営)
(2015～2019年度債務負担行為事業 総事業費414,061千円)

特定財源 廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 45,492千円



収集された燃やせるごみ



容器包装プラスチックの選別・圧縮設備

4 し尿処理場管理費					125,584 千円
担当	資源循環課			予算書	118 ページ
財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	120	125,464
<p>○事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内から集められた、し尿や浄化槽汚泥等を境川クリーンセンター（新施設）で助燃剤（脱水汚泥）と分離水に分け処理します。 ・境川クリーンセンター（旧投入施設）の解体を行います。 <p>○2019年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度に整備した境川クリーンセンター（新施設）の維持・管理を行います。 					
主な事業費	施設等管理委託料			33,747千円	
	解体工事費			50,011千円	
特定財源	ディスポーザ汚泥処理手数料			120千円	

5 再資源化推進費

303,655 千円

担当 資源循環課

予算書 118 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	287,880	15,775

○事業の内容

- ・清掃工場に持ち込まれたごみから資源となるものを選別し、再資源化を行います。
- ・市内から発生した剪定枝を町田市剪定枝資源化センターでたい肥化し、市民及び市内農家向けに販売します。

○2019年度の取り組み

- ・ごみに含まれる資源物の運搬・資源化に係る委託を行い、資源化を行います。
- ・剪定枝資源化センターの管理運営を委託することにより、剪定枝の効率的な資源化を行います。

主な事業費	収集・処分等委託料	173,178千円
	（ペットボトル圧縮結束等業務	39,899千円）
	（各資源物再資源化業務	133,279千円）

主な特定財源	資源物売払代（ペットボトル、ビン・カン等）	121,948千円
	廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金	135,343千円



再資源化される布団



剪定枝を破砕している様子

6 最終処分場管理費

124,329 千円

担当 資源循環課

予算書 119 ページ

財源内訳

国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,150	5,075	0	0	109,104

○事業の内容

・町田市一般廃棄物最終処分場の保全及び閉鎖に向けた水質検査業務や、上部利用に向けた測量及び工事を行います。

○2019年度の取り組み

・最終処分場の上部利用に向けた工事(池の辺地区)を行います。

主な事業費	整備工事費(池の辺地区整備工事)	54,250千円
	測定委託料(境界確定測量業務委託)	44,392千円
	調査等委託料(水質検査業務等)	11,518千円
関連事業	都市公園費(都市づくり部公園緑地課、495ページ参照)	



池の辺埋立区の様子



峠谷埋立区の様子

一般会計		款 4	項 3	目 4	3R推進費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2019年度	2,114,271	0	0	0	717,477	1,396,794
2018年度	2,066,636	0	0	0	675,399	1,391,237

3 3R推進事業費 236,699 千円

担当 3R推進課 予算書 119 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	106,886	129,813

○事業の内容

◆地域資源回収事業

町内会・自治会など、地域の市民で構成された団体が自主的に取り組む「地域資源回収」を奨励します。市は登録(実施)団体に対して、回収量に応じた奨励金を交付するとともに、資源回収の看板を支給するなどの支援を行います。ごみの減量や資源の有効利用というだけでなく、地域コミュニティの活性化にも役立ちます。

◆生ごみ減量・資源化事業

家庭から排出される生ごみの資源化を推進するため、10戸以上で構成される団体に対し、大型生ごみ処理機を無料で貸し出しています。また、家庭用生ごみ処理機等の購入者に対して購入金額の4分の3(上限20,000円)を補助しています。さらに、各家庭で手軽に取り組むことができるダンボールコンポストの普及を進めるため、講習会等を実施しています。

◆リサイクル広場事業

資源化できる陶磁器、ガラス食器、家庭用金物(台所用品、大工道具)、ビデオテープ、廃食用油、インクカートリッジ、小型家電等を直接持ち込んでいただく「リサイクル広場」を開催します。毎週月曜日～土曜日に開催している「常設広場」や月1回市内9箇所で開催している「移動広場」にて対象品目を回収し、資源化の推進に努めています。また、地域の団体が自主的に開催している「地域リサイクル広場」の取組についても支援しています。

◆資源物拠点回収事業

白色発泡トレイ、ペットボトル、紙パックの回収を実施する小売店舗について、市がリサイクル推進店として認定し、公表しています。また、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を契機に認知されてきた小型家電、携帯電話等の回収については、同プロジェクトが終了した後もレガシーとして持続していくため、引き続き市内の公共施設に小型家電等回収拠点を置きます。市民がこれらの拠点に資源物を持ち込みやすい環境を整備することで、リサイクル活動やごみ減量の推進を図ります。

◆イベントごみ減量支援事業

市内で開催される各種イベントの主催者に対して、リユース食器等の斡旋や分別ステーションの無料貸出しを行っています。イベントにおけるごみ減量の取組を支援することで、イベント参加者に対してのごみ減量・資源化意識の更なる普及拡大に努めます。

○2019年度の取り組み

「ごみ分別アプリ」等の様々な情報発信手段を用いた啓発活動を行います。

主な事業費	奨励金・報奨金(地域資源化奨励金)	103,409千円
	施設等管理委託料(リサイクル広場)	25,908千円
	収集・処分等委託料	25,130千円
	(拠点回収[リサイクル推進店])	22,863千円)
	(小型家電回収)	2,000千円)
	(廃棄物処分等)	267千円)
	備品借上料(大型生ごみ処理機)	11,412千円
特定財源	廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金	106,886千円



大型生ごみ処理機



ダンボールコンポスト



リサイクル広場まちだ

4 廃棄物収集費

1,516,452 千円

担当 3R推進課

予算書 119 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	250,267	1,266,185

○事業の内容

◆資源とごみ収集業務事業

業務の効率化を図るため、燃やせるごみ・燃やせないごみ等の収集運搬業務を委託し、資源物とごみを収集します。また、JR横浜線以南地域(小川・金森・金森東・つくし野・南つくし野・鶴間・南町田・成瀬が丘の全域、原町田1丁目の一部)では、容器包装プラスチックの分別収集を行っています。

◆粗大ごみ収集業務事業

業務の効率化を図るため、大型家具類など通常の方法では収集できない廃棄物(粗大ごみ)の収集運搬業務を委託し、粗大ごみを収集します。

◆車両管理事業

3R推進課が所管する収集運搬業務や集積所の管理に使用する車両を管理します。また、買い替えにあたっては環境に配慮した車両を積極的に採用しています。

◆廃棄物収集事業

市民が資源とごみを適切に排出できるよう、「資源とごみの収集カレンダー」や「資源とごみの出し方ガイド」等を作成し、市民に配布しています。「資源とごみの収集カレンダー」には一般事業者からの広告を掲載しているため、広告掲載料の収入が見込まれます。

◆システム管理事業

市内に約9,500箇所ある集積所の情報や収集に係る情報を一括管理している「ごみ集積所管理システム」や、不法投棄対策事業で使用している「監視カメラ」を管理しています。

○2019年度の取り組み

2020年度に予定している収集業務効率化を目的とした業務委託内容の変更について、詳細を検討します。

主な事業費	収集・処分等委託料	1,447,164千円
	(可燃物収集運搬)	528,615千円)
	(不燃物収集運搬)	224,976千円)
	(ビン・カン・有害ごみ等収集運搬)	321,435千円)
	(古紙等資源物収集運搬)	147,664千円)
	(容器包装プラスチック等収集運搬)	90,651千円)
	(粗大ごみ等収集運搬及び持ち込み受付)	130,067千円)
	(動物死体処理)	3,434千円)
	(不法投棄物の運搬処理)	322千円)

債務負担行為	収集・処分等委託料 可燃物収集運搬業務委託 その1 (2016年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費353,280千円) 可燃物収集運搬業務委託 その2 (2017年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費274,230千円) 可燃物収集運搬等業務委託 その3 (2018年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費106,532千円) 可燃物収集運搬業務委託 その4 (2014年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費537,050千円) 可燃物収集運搬業務委託 その5 (2015年度～2020年度債務負担行為事業 総事業費219,804千円) 不燃物収集運搬業務委託 その1～その2 (2016年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費668,736千円) 古紙等資源物回収運搬業務委託 その1～その3 (2018年度～2022年度債務負担行為事業 総事業費653,515千円) 容器包装プラスチック等収集運搬業務委託 (2015年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費370,637千円)	
主な特定財源	廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金	187,427千円
	廃棄物処理手数料	61,500千円
	廃棄物収集車売払代	44千円



収集車両



資源とごみの収集カレンダー

5 適正処理推進費

875 千円

担当 3R推進課

予算書 120 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	79	796

○事業の内容

◆不法投棄対策事業

市内での不法投棄を防止するため、市民への啓発用看板の貸し出しや監視カメラを活用した抑止活動を行っています。

◆資源物持ち去り対策事業

資源物の持ち去り行為を防止するため、市民団体等と協働で地域内のパトロールを行っています。地域内のパトロールは、警察署からも協力を得て行われています。

○2019年度の取り組み

- ・不法投棄の未然防止のため、啓発看板の貸し出しを行います。
- ・現在協定を結んでいる6団体と協働し、資源物持ち去り防止活動を支援します。また、取組拡大のため、新たな団体との協定締結を目指します。

事業費	消耗品費	875千円
	(不法投棄対策啓発用)	160千円)
	(資源物持ち去り防止活動協定団体支援用)	715千円)

特定財源	不法投棄未然防止事業協力金	79千円
------	---------------	------



市民等へ貸し出している啓発看板



市民・警察と協働でのパトロールの様子



資源持ち去り防止活動協定団体支援用消耗品

6 指定収集袋事業費

360,245 千円

担当 3R推進課

予算書 120 ページ

財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
	0	0	0	360,245	0

○事業の内容

ごみの減量・資源化の推進、ごみの排出量に応じた費用負担の公平化を図ることを目的に、指定収集袋によるごみの有料化を実施しています。有料化しているのは「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」及び「容器包装プラスチック」(JR横浜線以南地域のみ)です。

○2019年度の取り組み

指定収集袋の製造・管理・配送・手数料収納事務について、業務を委託します。

事業費	事業・業務委託料	360,245千円
	(指定収集袋作製)	245,009千円)
	(指定収集袋保管・配送及び手数料収納管理)	21,610千円)
	(手数料収納事務)	93,626千円)

債務負担行為	指定収集袋作製委託事業
	(2018年度～2019年度債務負担行為事業 総事業費208,103千円)

特定財源	家庭ごみ処理手数料	353,779千円
	少量排出事業者ごみ処理手数料	6,466千円



有料ごみ袋(燃やせるごみ・燃やせないごみ・容器包装プラスチック)

